

「MOMO テラス」の計画概要

◆リニューアル計画の概要

方向性： 六地蔵エリアの生活を豊かにする、地域の圧倒的ナンバーワン商業施設

ターゲット： 1) 足元商圈の深耕（3キロメートル商圈 約 18 万人）
2) 中域商圈の獲得（5キロメートル商圈 約 38 万人）
3) 来店客層の拡大（50 代主婦層に加え、ファミリー・ヤング層を採り込む）

改装ポイント： 1) 施設内外の環境改善

- ・ エントランスの環境改善
- ・ メイン導線の明確化
- ・ 内壁、天井、照明、トイレ等の見直し
- ・ 外壁補修、サインの見直し、植栽の強化、アウトモール空間の環境改善

2) パワーテナントの導入

- ・ 大型スーパーマーケット導入による食品強化
- ・ 家電などの大型専門店の導入とレイアウト変更
- ・ 回遊導線上への新規ファッション店舗導入
- ・ フードコート強化

◆「MOMO テラス」のコンセプト

1) 日々の暮らしの延長線上	都市生活サービス機能、食品ゾーンの充実
2) 豊富な品ぞろえ	地域 No.1 の店舗数、店舗面積
3) 居心地の良い空間	スムーズな導線、充実したレストスペース
4) テラス空間の設置	アウターモールのテラス化

◆施設環境イメージ



エントランス付近



食品エリア



モール（共有空間デザイン）



モール（共有空間デザイン）



レストスペース



レストスペース

※画像はすべてイメージです。

◆住友商事グループの商業施設

開発の理念：「豊かなまちづくりへの貢献」

人々の生活を支え育む豊かな生活環境を、永続的に調和発展させていくことが豊かなまちづくりであると捉え、その「豊かなまちづくりへの貢献」を開発理念としています。

開発の方向性：「まちづくり型商業開発」

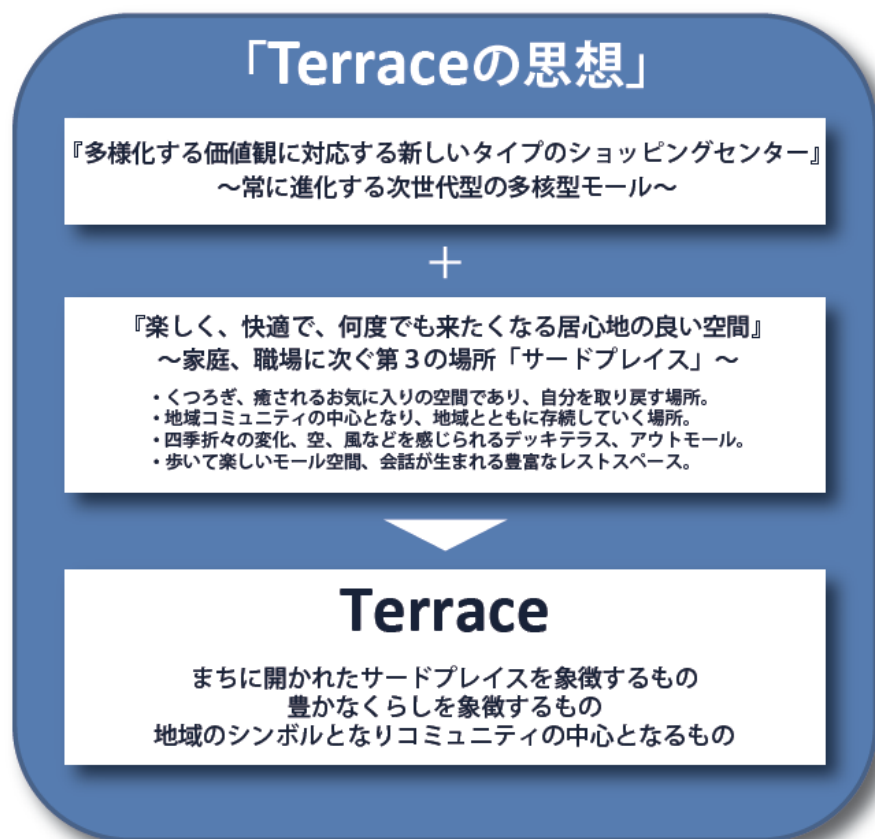
商業施設はまちづくりの中核を担う生活拠点であるべきと考え、多種多様な業種構成と共に都市生活サービス機能を取り込み、地域コミュニティの中心となる、まちに開かれた「まちづくり型商業開発」を行います。

開発運営のスタンス：「地域メイドの開発」

住友商事グループは、地域の長い歴史と地域が育んできた様々な価値や特性を理解して、その地域のオーダーメイド＝「地域メイド」の開発を行います。これが自らの事業基盤を強化にすると認識の下に、長期的なエリアマネジメントのスタンスに立脚し、地域の特徴を活かした開発運営を行うことが、「街」の魅力を向上させ、永続的な地域の活性化・振興に繋がっていくものと考えています。

◆「テラスの思想」について

住友商事グループは、商業施設にとって重要なことは、楽しく快適で何度でも来たくなる、テラス空間に象徴される「居心地の良さ」だと考えます。この考え方をテラスの思想と呼んでいます。



◆事業運営の推進主体について

住友商事および住商アーバン開発が、一体となって事業運営する体制を構築します。

住友商事グループは、1976 年より商業施設事業に参画し、都市型複合施設、都市リゾート型施設、地域密着の駅前立地型施設など、地域特性に合わせた多様な商業施設を開発してきました。

現在、関東、関西、仙台を中心に全国で 22 施設を運営しています。本プロジェクトにおいても、六地蔵全体が活性化することを目指し、地域との連携を基軸とした開発・運営を進めてまいります。